初山別村立初山別小学校

校長　安　居　　和

児童数　　４１名

学級数　５（１）学級

職員数　　１１名

―　学校・保護者・地域社会との連携、新たな取組を生み出す学校経営　―

「自分や仲間のよさを認め、自ら考え行動し、高め合う子どもの育成」を令和４年度の重点目標に掲げ、「新たな学びと調和のとれた教育課程と創意ある教育活動の推進」を柱とした学校づくりに取り組んでいる。

特に、令和２年度から３年間、北海道教育委員会の「授業改善推進チーム活用事業」の指定を受け、授業改善を推進し、児童一人一人の「確かな学力」の育成に大きな成果を上げている。

― 「わかる・できる・楽しい・もっと!」を目指した授業づくり ―

「主体的・対話的で深い学びを毎日できる授業づくり」を校内研究のテーマとし、児童一人一人に「確かな学力」を定着させるための授業改善に全教職員で取り組んでいる。

特に、授業改善推進教員を中心とした５視点15項目に基づいた授業づくり、放課後のリフレクションや記録分析、情報共有シートを活用した管理職との協議、メンター研修での具体的な指導方法についての交流などを行うことで、教員の資質能力の向上を図り、大きな成果を上げている。

― ＩＣＴの活用と必要な学習スキルの定着を目指した教育活動 ―

１人１台端末を活用した家庭での取組の充実に向け、保護者向け「iPadの使い方と約束」を配付し、家庭での１人１台端末を活用した学習スキルの定着を図るなど、個別最適な学びの充実に向けた新たな取組を実践している。

また、「学びポケット」、「スクールタクト」などの学習ソフトやアプリの活用方法の情報交換、小規模校の特性を生かした複式学級でのＩＣＴの活用、他校とのオンライン学習の実践に取り組み、成果を上げている。

― 地域のつながりや連携を大切にした教育活動―

・へき地である地域性により子どもたちには、生活体験が不足しているため、新型コロナ感染症対策を講じた「見学学習」、「水泳学習」「農業体験」、「職場・施設訪問」などの学習活動が有意義でした。

・地域の教育力や地域素材を生かした学習により、実感を伴った理解ができていると思います。特に、「高齢者施設訪問」は心の教育にもなっています。　　（保護者の声から）